

I 第42週の発生動向 (2014/10/13~10/19)

1. RSウイルス感染症については、患者報告数が前週の9人から22人に増加し今後の発生動向に注意が必要です。
2. 咽頭結膜熱については、患者報告数が前週の1人から17人に増加し今後の発生動向に注意が必要です。
3. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の78人から63人に減少しました。
4. 水痘については、むつ保健所管内で前週から**注意報**が継続しています。

II 第42週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
(90) インフルエンザ															0				
(79) RSウイルス感染症	2	0.3	5	0.6	4	0.4			4	0.7	7	1.8	22	0.5	13			2	0.3
(80) 咽頭結膜熱	1	0.1	11	1.2	2	0.2	3	0.6					17	0.4	16			1	0.1
(81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	1.3	5	0.6	5	0.5							20	0.5	-16			10	1.3
(82) 感染性胃腸炎	31	3.9	7	0.8	14	1.4	1	0.2	3	0.5	7	1.8	63	1.5	-15			31	3.9
(83) 水痘	7	0.9	3	0.3	1	0.1	2	0.4	6	1.0	17	4.3	36	0.9	0			7	0.9
(84) 手足口病	5	0.6	4	0.4									9	0.2	0			5	0.6
(85) 伝染性紅斑	1	0.1	1	0.1	5	0.5	1	0.2					8	0.2	-3			1	0.1
(86) 突発性発しん			2	0.2	8	0.8			7	1.2			17	0.4	-8				
(87) 百日咳															0				
(88) ヘルパンギーナ	1	0.1	1	0.1							3	0.8	5	0.1	-11			1	0.1
(89) 流行性耳下腺炎											1	0.3	1	0.0	-5				
(91) 急性出血性結膜炎															0				
(92) 流行性角結膜炎					2	1.0	1	1.0					3	0.3	3				
(97) クラミジア肺炎															0				
(98) 細菌性髄膜炎															0				
(100) マイコプラズマ肺炎					2	2.0					7	7.0	9	1.5	5				
(101) 無菌性髄膜炎															0				
(82) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0				

は警報、は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 八戸3人、五所川原1人、上十三2人(2014年計:309人)
- (15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 上十三1人(2014年計:19人)
- (37) つつが虫病(四類全数把握疾患): 八戸1人(2014年計:11人)
- (68) ジアルジア症(五類全数把握疾患): 八戸1人(2014年計:1人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

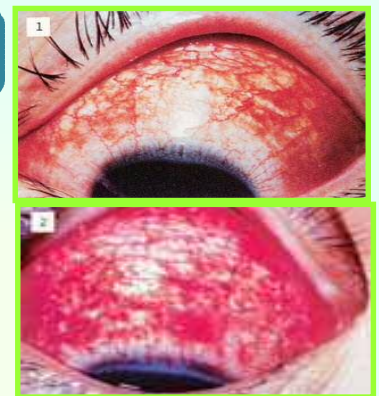
急性出血性結膜炎(五類定点把握疾患)

急性出血性結膜炎は、エンテロウイルス70型とコクサッキーウイルスA24変異型の感染によって起こる急性結膜炎です。潜伏期間は1日で突然の強い目の痛み、異物感などで始まります。結膜の充血、特に結膜下出血を伴うことが多く、眼瞼腫脹、眼脂、結膜濾胞、角膜表層のび慢性混濁が高頻度にみられます(写真)。

全身症状としては頭痛、発熱、呼吸器症状などがみられます。通常、約1週間で治癒しますが、この疾患に罹患した6~12ヶ月後に四肢の運動麻痺を来すことがあるので注意が必要です。

県内の患者報告数は少ない状況で、平成25年は11人、平成24年は8人でした。

好発年齢は特にありませんが、本県においては主に15歳以上の年齢層で発生しています(図1)。2次感染予防のために、眼分泌物はティッシュペーパーなどで除去し、直接手で触れない、手洗いの励行、洗面器・タオルなどの共用を避けることが重要であり、ウイルスで汚染した器具などの消毒には、煮沸や70%アルコール液などが有効です。



急性出血性結膜炎の眼病変(国立感染症研究所感染症疫学センター)

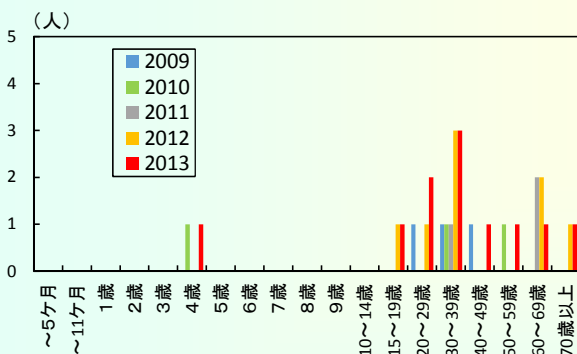


図1 過去5年間の県内における年齢別患者報告数

【参考】IDWR「感染症の話」

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2014 年第 26 週～第 42 週)

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	つつが虫病1人					
27	H26.6.30 ~ H26.7.6		侵襲性インフルエンザ菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人		
28	H26.7.7 ~ H26.7.13			腸管出血性大腸菌感染症1人			
29	H26.7.14 ~ H26.7.20	A型肝炎1人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人	E型肝炎1人				
30	H26.7.21 ~ H26.7.27						
31	H26.7.28 ~ H26.8.3	後天性免疫不全症候群1人 梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症2人	
32	H26.8.4 ~ H26.8.10	A型肝炎1人 レジオネラ症1人					
33	H26.8.11 ~ H26.8.17	腸管出血性大腸菌感染症4人					
34	H26.8.18 ~ H26.8.24			腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 後天性免疫不全症候群1人	
35	H26.8.25 ~ H26.8.31						
36	H26.9.1 ~ H26.9.7	デング熱1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
37	H26.9.8 ~ H26.9.14					腸管出血性大腸菌感染症1人	
38	H26.9.15 ~ H26.9.21						
39	H26.9.22 ~ H26.9.28					腸管出血性大腸菌感染症1人	
40	H26.9.29 ~ H26.10.5		レプトスピラ症1人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
41	H26.10.6 ~ H26.10.12			カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人			
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			つつが虫病1人 ジアルジア症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014 年第 32 週～第 42 週)

単位：人

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
32	H26.8.4 ~ H26.8.10		5	4	1		
33	H26.8.11 ~ H26.8.17		1	4		2	
34	H26.8.18 ~ H26.8.24	2	2	6	1		
35	H26.8.25 ~ H26.8.31	1	2	12	1	1	
36	H26.9.1 ~ H26.9.7	1	5	3		1	
37	H26.9.8 ~ H26.9.14	3	3	7	1	1	
38	H26.9.15 ~ H26.9.21		1	4	1	1	
39	H26.9.22 ~ H26.9.28		1	3	1	2	
40	H26.9.29 ~ H26.10.5	1	2	3			1
41	H26.10.6 ~ H26.10.12	2	6	2	1	1	
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			3	1	2	

VII 全数把握疾患発生状況 (全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014 年第 1 週～第 40 週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	オウム病	回帰熱	Q熱	コクジオイチス症	重症熱性血小板減少症候群	チカングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポルミア症	マリア	野矢病	ライム病	
累積報告数	19623	4	91	3501	42	15	110	404	15	8	1	1	1	56	10	116	306	175	2	10	1	51	1	10	

分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アヘーハ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性球菌感染症	風しん	麻しん	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	水痘(入院例)	種痘性カリブコックス症	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	938	25	853	187	360	85	130	210	1165	46	153	27	1315	9	1243	102	38	290	451	42	21	2	2

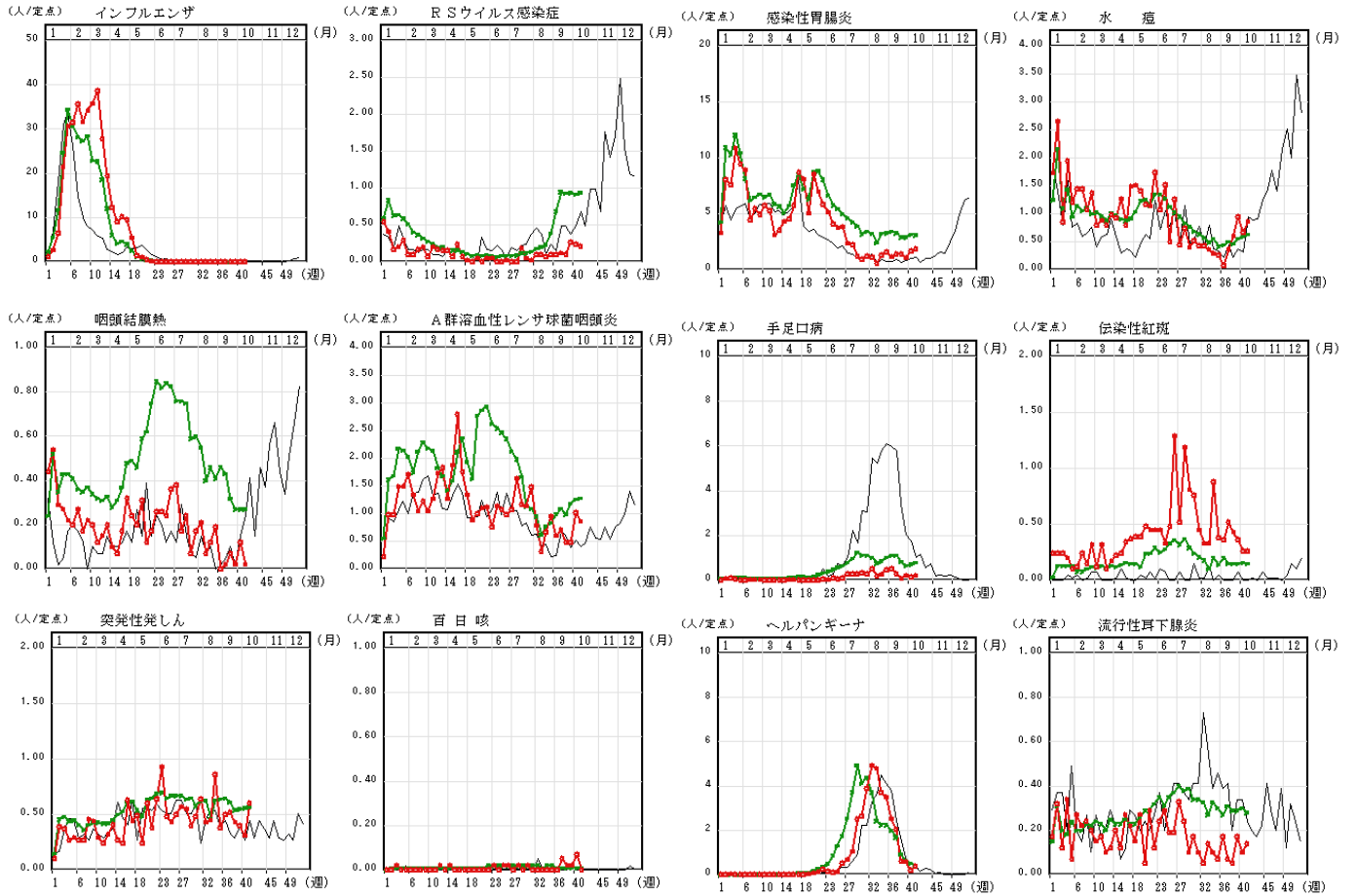
青森県

(2014 年第 1 週～10 月 21 日 9:00 累計)

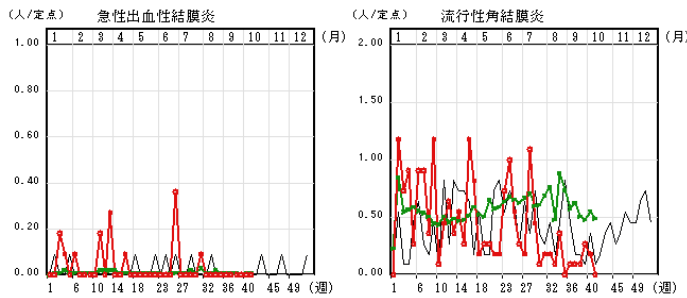
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	レプトスピラ症	アヘーハ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	
累積報告数	309	19	2	3	11	1	3	1	6	1	8	1	1	4	1	1	6	4	1	

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第41週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、×—×は2014年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第41週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第41週)

